

大ヒット  
『放』に続く、  
越後・柏崎を  
舞台にした小説  
歴史小説  
第2弾

天保8(1837)年、大塩平八郎の乱から数カ月後、越後・柏崎の地に「尊王救民」の旗を掲げ、立ち上がった男たちがいた。生田萬の乱―。凶作に追い打ちをかける米価高騰のからくりを暴き、江戸幕府を震撼させたもうひとつの史実を描く。

横村 出

いくた よろず  
生田萬の乱



義拳か、  
暴拳か、

発行/新潟日報メディアネット  
2,200円(税込)